

龍谷大学における「仏教 SDGs」を通じた成果と課題（2022 年度）

2023 年 11 月 1 日

龍谷大学では、2020 年度から 2039 年度を計画期間として展開する将来計画「龍谷大学基本構想 400」における将来ビジョンとして、『まごころ～Magokoro～』ある市民を育み、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる『壁』や『違い』を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなる」旨を掲げています。これは、まさに、持続可能な社会の実現を希求する計画といえます。

また、浄土真宗の精神を建学の精神とする本学では、阿弥陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心（摂取不捨）と、SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とに共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自省と気づきを促す「仏教 SDGs」を掲げ、SDGs に資する諸事業を様々に展開しています。

これらを踏まえ、龍谷大学ならではのアプローチで SDGs の達成に貢献することを誓い、2022 年 2 月に「龍谷大学 SDGs 宣言」を発出するに至りました。

ここでは「環境」「経済」「社会」及び「パートナーシップ」の 4 つの区分に分類し、2022 年度の主な活動を通じた成果と課題をまとめました。各取組の詳細については [「龍谷大学の SDGs 取組実績」](#) をご参照ください。

龍谷大学基本構想 400 – 2039 年創立 400 周年を超えた未来に向けて –

<https://www.ryukoku.ac.jp/400plan/>

龍谷大学 SDGs 宣言

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/about/>

仏教 SDGs について

<https://retaction-ryukoku.com/concept>

龍谷大学の SDGs 取組実績

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/goal/>

経済分野



低炭素社会の実現に向けた食料システム構築のための「アグリDX」人材育成事業
持続可能性を重視した新たな経済システムや価値観の構築が求められている中、本学では
学内はもちろん、様々なステークホルダーと連携しながら、教育・研究・地域社会への実装
化等を図っています。

2022年8月19日、文部科学省が主催する大学教育のデジタルイノベーションに関するイベントで、「低炭素社会の実現に向けた食料システム構築のための『アグリDX』人材育成」と題した本学の取り組みについて発表しました。これは、本学農学部と先端理工学部の実習を相互に補完しあい、「食と農」に関わる産業のデジタル化の駆動力となる人材を養成することを目的としたものです。

2022年10月、京都市と京都リビング新聞社が実施した「食品ロス削減キャンペーン」に本学学生が参画し、「京の食品ロスゼロ検定」の問題・解説文や啓発パネルを作成しました。街頭呼び掛けも参加し、食品ロスの削減を京都の方々に呼び掛けました。

こうした活動は大学内に留まらず、龍谷大学附属平安高等学校においても進めています。2022年11月16日に、2020年「経済産業省認定グローバルニッチトップ企業100選」に選定された株式会社ナベル(所在地:京都市南区)の南部邦男取締役会長による特別講義「卵を通じて学ぶSDGs」を開催し、同社が企業成長を遂げるなかで取り組んできた環境への配

慮や食品ロスへの取組、人材育成などについてお話いただきました。

今後も、地域社会との連携を推進するとともに、社会起業家やアグリ DX 人材の育成・輩出を通じて持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

以 上